対象：乳幼児をもつ保護者

時間：９０分程度

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ねらい | ○　周囲の人を子育てに巻き込む。  ○　周囲の人が子育てに積極的に関わるようになるポイントを考える。 | | |
| 実施のポイント  （評価など） | ○　子育てを一人で抱え込まず、パートナーや家族と共に子育てをしていこうという思いをもつことができる。  ○　パートナーや家族と共に子育てし、子どもの成長の喜びを分かち合えるという捉え方をすることで、より前向きに・積極的に取り組めることに気付くことができる。 | | |
| 事前準備 | ○　あらかじめ４～５人のグループに分かれておく。  ○　筆記用具　　○　ワークシート　　○　アンケート用紙（必要に応じて）  ○　付せん紙（青・黄）　　○　ペン　　○　模造紙 | | |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| 15分  **導 入** | ・ワークの趣旨説明  ・３つの約束  ・アイスブレイク（自己紹介） | ・自己紹介では、子どもとの時間でうれしかったことを挙げてもらい、学習のねらいに迫れるようにする。 | ３つの約束 |
| 25分  **展 開** | **ワーク１**  ・エピソードをもとに、子育て  をしている中で、自分一人で  はどうにもならなくて困っ  た場面を挙げる。  ・グループ内で発表し、共有  する。 | ◎自分の子育ては一人でがんばりすぎていないかを振り返ることをねらいとする。  ・個人で付せん紙に書き出す。  ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。その際、似た意見の付せん紙をまとめる。  ・グループでの共有時間をしっかり確保する。 | 付せん紙（青）  ペン  模造紙 |
| ５分 | **資料紹介**  ・ワークシートにある資料を  読む。 | ◎もっと周囲に頼ったらよいことに気づくことができることをねらいとする。  ・資料をもとに「協力してほしい」と伝えたり「私はこうしたい」と相談したり、“対話する”ことの大切さについて説明する。  ・その時の伝え方が重要になることを説明する。 | ワークシート |
| 30分 | **ワーク２**  ・ワーク１で出てきた場面の解決策について、グループで話し合う。  ・全体で共有する。 | ◎解決策を知ることで、ゆとりをもって前向きに子育てしようと思うことができることをねらいとする。  ・個人で付せん紙に書き出す。  ・グループ内で、ワーク１で使用した模造紙に付せん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。  ・“私はこんなふうにしているよ”と実際に行っていることなどはもちろん、“こんなふうにしたらどうかな？”とアドバイス・提案してもよい。  ・全体共有では、各グループの模造紙を見て新しいアドバイスを書いたり、グループのメンバーを入れ替えたりして、広く解決策が得られるように工夫する。 | 付せん紙（黄）  ペン  ワーク１の模造紙 |
| 15分  **まとめ** | **ふりかえり**  ・感想をグループ内で発表す  る。  ・数名発表し、全体で共有す  る。 | ◎もっと周囲に頼って一緒に子育てをすることで、子どもの成長の喜びを分かち合えることに気付くことができることをねらいとする。  ・これからの子育てで、ワーク２で出てきた解決策をどのように生かすか考える。  ・“対話する”こと以外の自分一人ではどうにもならなくて困った場面の解決策の例として、ポータルサイト「おかやまはぐくまーれ」や各自治体の子育て支援に関するサービスを紹介してもよい。 | ワークシート |